

未来を拓く心豊かなまち

第9次 和寒町社会教育中期振興計画

令和3年度～令和7年度

いつでも どこでも だれでも いつまでも
“まなび” がひろがる まち わっさむ



和寒町教育委員会



町章

「和」をモットーとして、町民が協力しあい（円）農業を基盤として工業、商業の発展する町を表し（三角）上部に和寒の頭文字Wを配したものの。
（昭和40年制定）

和寒町民憲章

わたくしたちは、伸びゆく和寒町の町民であることに誇りと希望をもち、香り高い文化を育て、明るい町づくりにつとめます。

1. まちを美しく、きまりを守って
すみよい社会をつくりましょう。
2. 心もからだもすこやかに、こどもの夢をのばす
あたたかい家庭をつくりましょう。
3. みんな仲よく助けあい、しごとに汗して
ゆたかな郷土をきずきましょう。

はじめに

和寒町教育委員会は、社会教育振興のために「社会教育中期振興計画」を5ヶ年ごとに策定し、学校教育や社会教育関係機関、団体、地域住民と連携をとりながら社会教育活動の推進に努めてきました。

近年、人生 100 年時代と言われる長寿社会の中、価値観の多様化やライフスタイルの変化、情報通信技術の急激な進展など、私たちを取り巻く社会情勢は常に変化しています。

そのような中、町民一人ひとりが生きがいのある人生を送ることができるよう、学びの環境や機会を充実させ、生涯にわたって主体的に学び続け、その成果を社会に生かしていく生涯学習社会を実現していかなければなりません。

本計画は、平成28年度から令和2年度までの5ヶ年間の「第8次和寒町社会教育中期振興計画」の目標年次が完了することから、「第6次和寒町総合計画」との整合性を図りながら、和寒町教育大綱である「未来を拓く 心豊かなまちづくり」と「いつでも どこでも だれでも いつまでも “まなび” がひろがる まち わっさむ」を社会教育推進の基本理念とし、生涯学習の推進と地域の持続的発展を目指すための指針となるものです。

そのためには、町民の皆さまの主体的・自発的な生涯学習活動への参加と関係機関や団体など多方面との連携が必要であることから、町民の皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本計画策定にあたりまして、多大なるご尽力を賜りました策定委員の皆さまをはじめ、ご協力いただきました関係各位に対しまして、心から厚くお礼申し上げますとともに、今後ともより一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

令和3年3月

和寒町教育委員会

教育長 沓 澤 昭 一

も く じ

◇和寒町民憲章

◇はじめに

第1章 基本構想

第1節 計画策定の意義	1
第2節 計画の性格	1
第3節 計画の期間	2
第4節 計画の内容	2

第2章 基本計画

第1節 社会教育推進の重点	3
1. まちづくりの基本視点と基本分野	3
2. 社会教育推進の基本理念	3
3. 社会教育推進の基本方針	4
4. 社会教育推進の重点施策	6
第2節 施策の体系	7

第3章 現状と課題・推進内容

第1節 社会教育活動の振興	8
1. 家庭・地域の教育力の向上	8
2. 社会教育活動の推進	10
3. 社会教育推進と文化振興のための基盤整備	12

第2節	文化活動の振興	14
1.	芸術文化活動の充実	14
2.	郷土文化の継承	16
3.	読書活動の推進	18
第3節	スポーツ活動の振興	20
1.	誰もが親しめるスポーツ機会の拡充	20
2.	スポーツの基盤の整備充実	22

【資料編】

◇	「町の社会教育団体に関する実態調査」調査結果の概要	25
◇	諮問文	35
◇	答申書	36
◇	第9次和寒町社会教育中期振興計画策定委員会要綱及び分掌	37
◇	第9次和寒町社会教育中期振興計画策定委員会組織	39
◇	第9次和寒町社会教育中期振興計画策定の経過	39

第1章 基本構想

第1節 計画策定の意義

和寒町は、大正4年4月1日に二級町村「和寒村」として誕生し、農業を基幹産業とした町として発展し、平成27年4月に開村100周年を迎えました。

和寒町社会教育振興に係る計画は、昭和56年「和寒町の風土に根ざす生活・文化創造を期して、生涯教育の観点に立ち、町民憲章を柱とした社会教育の推進」を基本目標に、昭和60年までの和寒町中期社会教育振興計画がはじめて策定されました。

以後、5ヶ年ごとに時代の変遷に即応する振興計画を策定し、本町社会教育の進展に大きな役割を果たしてきました。

平成30年12月に中央教育審議会がまとめた「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について（答申）」は、人口減少やコミュニティの衰退を受けて、住民参画による地域づくりがこれまで以上に求められる中、社会教育を基盤とした人づくり・つながりづくり・地域づくりが重要であることからの社会教育の在り方が示されました。

近年、人口減少や高齢化、情報通信技術（ICT）が急速に進み、地域社会においても、様々な課題や変化に対応することが求められるとともに、地域固有の魅力や特色を改めて見つめ直し、その維持発展に取り組むことが期待されています。また、こうした中で地域における社会教育には、一人ひとりの生涯における学びを支援し、住民相互のつながりの形成を促進することに加え、地域の持続的発展を支える取組に資することがより一層期待されています。

このように、社会教育を取り巻く情勢を踏まえ、今後5ヶ年の将来を展望した社会教育のあり方を基本とし、町全体で幅広い連携を図り、町の人材や教育資源を活用しながら、町民の生涯にわたる豊かな学習機会の確保に努めるために、本町の生涯学習の振興を図るため、「第9次和寒町社会教育中期振興計画」を策定するものです。

第2節 計画の性格

この計画は、和寒町社会教育行政の総合的な指針となるもので、教育行政の主体性を保持しながら、次のような考えにもとづき策定しました。

- (1) 生涯学習の観点に立ち、町民の参画や行政との協働を基本に推進します。
- (2) 町の総合振興計画である「第6次和寒町総合計画」（令和3年～令和10年）と整合性を図りながら推進します。

- (3) まち・ひと・しごと創生総合戦略や行政改革の将来動向を考え合わせながら推進します。
- (4) 計画期間内の社会情勢の変動等には、柔軟に対応し、十分な検討を行い、修正しながら推進します。

第3節 計画の期間

本計画の期間は、令和3年度から令和7年度までの5ヶ年間とします。

第4節 計画の内容

この計画は、「第8次和寒町社会教育中期振興計画」の反省と評価を踏まえ、社会教育として取り組むべき基本的課題を明らかにした上で、基本構想、基本計画並びに現状と課題にもとづく重点目標と推進項目の三部構成とし、町民の多様な自発的・主体的学習を支援し、学びの成果を生かすことのできる、望ましい生涯学習社会の構築を目指す内容としました。



1市2町リーダー研修会



フレンドパーク

第2章 基本計画

第1節 社会教育推進の重点

1. まちづくりの基本視点と基本分野

和寒町は、住んでいて良かった、住み続けたいと思えるまちづくりをめざし、令和10年度までの8年間の「第6次和寒町総合計画」を策定し、次の7つの分野に区分し町政を推進します。



2. 社会教育推進の基本理念

「和寒町の風土に根ざし、生きがいとうるおいのある地域づくりを目指す

生涯学習の観点に立った社会教育の推進に努める」

～ いつでも どこでも だれでも いつまでも
“まなび” がひろがる まち わっさむ ～

和寒町教育大綱の基本目標「未来を拓く 心豊かなまちづくり」を基本とし、豊かな自然環境と先人が築き上げた文化を継承しつつ、教育行政の独自性を発揮した創造性豊かで活力ある、持続可能な和寒町を目指します。豊かな学習社会を築くためには、情報化や国際化・少子高齢社会等、社会情勢の変化に柔軟に対応できる人を育み、「地域としての課題解決」に向け、町民の参画を促進しつつ、組織的かつ継続的に推進することが求められております。町民だれもが生涯にわたり自主的かつ主体的に学習し、学びの成果が適切に評価され、活用できるような社会教育の推進を図っていきます。

3. 社会教育推進の基本方針

(1) 社会教育活動の振興

～自ら学び、豊かな心とうるおいのある地域づくりと人づくりをめざす社会教育の推進～

少子化や核家族化の加速により、地域のつながりが希薄化する中、家庭、学校、地域の連携を深め、子どもの安全安心を守り、子どもたちの健やかな成長を育む地域づくりが望まれています。

また、全町民が、心の充実と生きがいを感じる活力ある生活をおくるために、生涯各期において学ぶことができる多様な学習機会の提供、環境整備に努めるとともに、ボランティア活動の促進や地域の人材の育成・活用をとおして、家庭や各関係機関団体との連携のもと、人と人とのつながりやふれあいを大切にする社会教育を推進し、社会教育活動や文化振興の環境整備に努めていきます。

(2) 文化活動の振興

～豊かな心を育む芸術文化活動の充実と郷土文化の継承～

人々の価値観やライフスタイルが多様化しており、心豊かなこの町に住み続けながら、感性を高め、技能の習得や創作・活動等を継続するため、町民の自主的な芸術文化活動への参加機会の充実や質の高い芸術文化に触れることのできる環境づくりを進めていくとともに、先人達が培い、受け継がれてきた文化財や郷土資料の保存・活用に努め、郷土の歴史や文化を学ぶ学習機会を提供し、継承していくための活動を推進します。

～魅力ある図書館づくり～

町民が深い知識や教養、多様な価値観を身につけ、心豊かな充実した生活をおくるために、生涯をとおして学ぶことのできる場所や機会を提供し支援していくことが大切です。図書館では、町民の読書活動や学習活動の拠点として、多様化する町民ニーズに対応できるよう蔵書の充実を図り、幅広い資料提供に努めます。また、学校をはじめ各関係機関団体との連携のもと、生涯学習や読書活動の推奨、啓発に努め、地域に根ざした親しみある図書館を目指します。

(3) スポーツ活動の振興

～健康で明るく豊かな生涯スポーツの推進～

スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利です。高齢化の進行に伴い、健康で長生きすることへの関心が高まり、生涯にわたってスポーツに親しむことのできる環境が求められています。

和寒町では、昭和58年に「スポーツの町宣言」をし、町民が主体的に運動・スポーツに親しむ風土が醸成されてきました。ライフスタイルの変化や価値観の多様化にともない、子どもや成人の体力低下や運動不足、スポーツ離れが指摘されていますが、身近な生活の場にスポーツを取り入れることにより、子どもから成人、高齢者まで生涯をとおして「いつでも どこでも だれでも いつまでも」健康で明るく豊かな人生をおくることができるよう、スポーツに親しむ機会の拡充、スポーツ人口の拡大や人材の確保・育成、スポーツ環境の充実に努めていきます。

昭和58年6月20日制定

スポーツの町宣言

私たちは、生涯を通してスポーツを愛し、強くたくましい心と、からだをきたえ、希望にみちた町をつくるため、次の目標を掲げてここに「スポーツの町」を宣言します。

1. 町民皆スポーツを目指して、
スポーツの輪を広めましょう。

1. 次代をになう青少年のため、
スポーツの場と機会をつくりましょう。

1. スポーツに親しみ、家族、職場、
地域のふれあいを深めましょう。

4. 社会教育推進の重点施策

(1) 社会教育活動の振興

① 家庭・地域の教育力の向上

- ・子どもの健やかな成長・発達のための家庭教育と子育て支援の充実
- ・地域で子どもたちを守り育てる環境づくりの促進

② 社会教育活動の推進

- ・生涯各期における学習活動の促進
- ・町民参画や協働による社会教育活動の充実

③ 社会教育推進と文化振興のための基盤整備

- ・生涯学習環境の整備活用と人材育成

(2) 文化活動の振興

① 芸術文化活動の充実

- ・芸術文化活動の充実

② 郷土文化の継承

- ・文化財の保存と活用の推進

③ 読書活動の推進

- ・生涯学習支援の強化と読書推進活動の充実
- ・読書環境の整備
- ・図書館や読書活動に関する理解・関心の普及啓発

(3) スポーツ活動の振興

① 誰もが親しめるスポーツ機会の拡充

- ・スポーツに親しむ機会の拡充
- ・スポーツ人口の拡大と組織強化
- ・スポーツをとおした交流活動の推進

② スポーツの基盤の整備充実

- ・スポーツ人材の確保・育成
- ・スポーツ施設の整備、管理運営の充実

第2節 施策の体系

町 民 憲 章 第 6 次 和 寒 町 総 合 計 画

社 会 教 育 推 進 の 基 本 理 念

和寒町の風土に根ざし、生きがいと潤いのある地域づくりを目指す
生涯学習の観点にたった社会教育の推進に努める

いつでも どこでも だれでも いつまでも
“まなび” がひろがる まち わっさむ

基 本 方 針

社会教育活動の振興

自ら学び、豊かな心と潤いのある地域づくりと人づくりをめざす社会教育の推進

家庭・地域の教育力の向上

社会教育活動の推進

社会教育推進と文化振興のための基盤整備

文化活動の振興

豊かな心を育む芸術文化活動の充実と郷土文化の継承

魅力ある図書館づくり

芸術文化活動の充実

郷土文化の継承

読書活動の推進

スポーツ活動の振興

健康で明るく豊かな生涯スポーツの推進

誰もが親しめるスポーツ機会の拡充

スポーツの基盤の整備充実

第3章 現状と課題・推進内容

第1節 社会教育活動の振興

1. 家庭・地域の教育力の向上

(1) 現 状

地域は、多様な人間関係の中で、子どもたちが固有の文化の伝承や遊び等をとおして、社会規範や道徳心等、社会で生きるための基本を学ぶ重要な場であるとともに、家庭での教育を支えていく役割を担っており、地域住民の知識や経験等を子どもたちの学びに活かすことにより、未来をたくましく生き抜く子どもを育て、地域の振興・創生にも繋がっていくことが期待できることから、学校と家庭、地域が一体となって子どもたちを育む取り組みを進めていくことが重要です。

本町では、PTAや地域のボランティアによるこどもの安全見守り隊活動や学校支援ボランティア活動を通じて、児童・生徒の安全確保や授業の支援、環境整備活動に取り組んでいます。

また、家庭教育や望ましい生活習慣等について、PTAや地域住民に対し、「子育て講演会」や「教育力向上講演会」を開催しています。

子どもたちを巡る課題に対応していくためには、学校のみならず、家庭や地域の果たす役割が大きく、そのためにも学校と地域が一体となって子どもたちの成長を支えるため、学校・家庭・地域・関係機関が連携を図りながら、子育てに関する学びの支援や相談対応、情報提供や親同士の交流の促進等、親の育ち（親力）を支援する環境づくりが重要であり、これからも学校運営協議会と地域学校協働本部が連携して、町全体で家庭・地域の教育力を一層高めていく取り組みの充実が必要です。

(2) 課 題

- ① 地域の人材の知識や経験また、学習資源を活用した事業の展開が必要です。
- ② 子育て支援教育や家庭教育推進のため、関係機関とのネットワークづくりが必要です。
- ③ 子どもの望ましい生活習慣や学習習慣について学んだり、関係機関と連携を図りながら家庭教育に関する悩みを他の保護者と共有できる機会の提供が必要です。
- ④ 町全体で子どもたちの安全・安心を確保する活動の拡充が必要です。

(3) 重点目標

- ① 子どもの健やかな成長・発達のための家庭教育と子育て支援の充実
- ② 地域で子どもたちを守り育てる環境づくりの促進

(4) 推進内容

- ① 地域の人材の特技や知識、学習の成果を生かし、子育て世代を対象にした学習活動や体験活動の充実に努めます。
- ② 子育て支援センターや図書館、関係機関・団体等と連携し、子育て支援、家庭教育に関する情報の共有を図り、家庭教育の推進に努めます。
- ③ 家庭教育に関する情報や事業活動についての情報提供と運動習慣や食習慣等子どもの生活リズム向上に関する啓発資料の作成、電子メディアとの関わり方に関する学習機会の取り組みに努めます。
- ④ 学校やPTA、地域と連携・情報共有しながら、事件・事故・有害情報等から子どもたちを守り育てる環境づくりに努め、子ども安全推進事業や地域学校協働本部事業の推進を図ります。
- ⑤ 学校支援に関わるボランティアの活用の拡充に努めます。

(5) 主な具体的活動

- ① 教育力向上講演会の開催や家庭教育に関する情報提供
- ② 子育て支援ネットワークの充実
- ③ 早寝早起き朝ごはん運動※1や上川スライド30※2の啓発
- ④ こどもの安全見守り隊、にこにこパトロール、子ども110番の家の推進や学校支援ボランティアの体制づくり（人材バンク）



子ども110番の家ステッカー



教育力向上講演会

- ※1 早寝早起き朝ごはん運動：子どもの生活リズム向上と健やかな成長のため、早寝早起きと朝ごはんをしっかり食べることを呼びかける運動。
- ※2 上川スライド'30：保護者の意識を啓発し、家庭の中で子どもと保護者の会話を増やすきっかけという位置付け（テレビやゲームの時間を、家庭学習や読書の時間にスライドさせましょう！まずは30分から）

2. 社会教育活動の推進

(1) 現 状

人生100年時代と言われる長寿社会の中、価値観の多様化やライフスタイルの変化、情報通信技術（ICT）の急激な進展等、私達を取り巻く社会情勢は常に変化しており、生涯にわたって多様な学習を行い、その成果を活かす実践の機会を提供する生涯学習社会の実現に向けて、社会教育の機能や役割に対する期待が高まっています。

本町では、公民館や図書館、スポーツ施設等の社会教育施設を活用しながら、様々な関係機関・団体等と連携を図り、幼児から高齢者まで生涯各期に応じた、社会教育事業や公民館講座、生涯学習講演会、三笠山大学等の学習機会や、学習情報の提供を行い生涯学習の振興に努めています。

また、小学生を対象とした土曜日の教育活動推進プラン「わっとさむドキドキクラブ」、広域による宿泊体験学習事業「1市2町合同ジュニアリーダー研修会」（土別市・剣淵町・和寒町）や放課後の学習活動「ステップアップ教室」、英語を楽しみながら学ぶ「ジュニアイングリッシュ講座」をとおして、子どもたちの健全育成に取り組んでいます。

しかし、近年、個人志向の高まりから、青年層を中心に団体活動への関心の低下や参加意識の希薄化が進んでいる状況にあり、本町の未来を担う観点からも、青年層のつながりを創出し、町の活力づくりにつなげていくことが必要です。

社会的変化が急激に進む中、町民の生涯学習のニーズは身近な生活の場や文化・スポーツ・健康等、様々な分野にわたり広範囲で多様化し、より専門的な学習が求められていることから、それらを把握し、新しい価値観や柔軟な発想を取り入れた学習機会、地域の人材や自然、学習資源等を活用した体験学習の充実が必要であるとともに、町民が自ら社会教育活動への参画・協働に取り組めるような学習情報を発信することが必要となっています。町民一人ひとりが生きがいのある人生を送ることができるよう、学びの環境や機会を充実させ、生涯にわたって主体的に学び続け、その成果を社会に生かしていく生涯学習社会の構築に努めていくことが必要です。

(2) 課 題

- ① 学びの成果を生かせる環境づくりと地域の人材発掘が必要です。
- ② 子どもたちの多様な体験活動や異年齢・異世代との交流機会の充実が必要です。
- ③ 各年代層の学習ニーズの把握が必要です。
- ④ 青年層のネットワークづくりや連携強化、町民の主体的・自発的な学習活動につながる学習情報の発信が必要です。

(3) 重点目標

- ① 生涯各期における学習活動の促進
- ② 町民参画や協働による社会教育活動の充実

(4) 推進内容

- ① 町民の学習の成果を生かせる環境づくりと地域の人材の発掘に努めます。
- ② 子どもたちが放課後や休日等に自然体験や文化・スポーツ体験等の体験活動ができるよう努めます。
- ③ 社会情勢や生涯学習に関わる情報収集や各関係機関・団体・市町村間との連携を図りながら、町民の学習ニーズの把握に努めます。
- ④ 町民の参加意欲を高めるための学習情報の発信と生涯各期に応じた社会教育事業の充実に努めます。

(5) 主な具体的活動

- ① 公民館講座の充実（青年、成人、子育て世代を対象にした講座の充実）
- ② 町民参画型社会教育事業の促進（町民自主企画公民館講座等）
- ③ わっとさむドキドキクラブ、1市2町合同ジュニアリーダー研修会、ステップアップ教室、ジュニアイングリッシュ講座の実施
- ④ 三笠山大学の充実と、学習の成果を生かす活動への支援と異世代交流の拡充
- ⑤ 生涯学習講演会の実施



わっとさむドキドキクラブ



1市2町合同ジュニアリーダー研修会



公民館講座「ウォーキング & 腸セビ-」

3. 社会教育推進と文化振興のための基盤整備

(1) 現 状

社会教育推進のため、公民館を社会教育活動の拠点として、多様化、高度化する町民の学習ニーズに対応した学習機会の提供や文化・スポーツ施設、図書館等の環境整備をおこなってきました。

今後も、町民の視点に立ったハード・ソフト面の機能充実に努めていく必要があります、それぞれの施設や関係団体と連携を図りながら、町民が「いつでも どこでも だれでも いつまでも」学べる環境づくりのためにも地域における生涯学習の推進状況の把握、地域活動への意欲への喚起を担う社会教育主事等の専門職員の配置や資質の向上が重要です。

文化振興については、恵み野ホール自主企画事業を中心に様々な芸術文化鑑賞事業を開催し、町民に感動や喜びをもたらす、質の高い芸術文化に触れる機会の提供をおこなっています。

和寒町未来を拓く人づくり推進事業は、子どもたちの広い見識と豊かな感性や国際感覚を育む等健全な心身の成長を強く願い、中学2年生が台湾での研修を実施してきていますが、令和4年度からは中学生の修学旅行として実施していきます。

一方、町民の文化団体、サークル活動への取り組みは、年々会員の高齢化・固定化・減少が続いており、青年・成人層の文化活動の参画が必要とされています。

このことから、専門職員の配置に努め、社会教育担当職員の資質の向上や充実、社会教育関係職員及び各関係機関・団体と連携を図り、広報誌、町ホームページ等を活用し情報提供するとともに、会員数の増加に努めなければなりません。

また、施設の老朽化が進む中、適切な補修・改修を計画的に進め、安全で快適な施設に努めなければなりません。

(2) 課 題

- ① 専門職員の配置による、学習活動、学習情報の提供、相談窓口の充実が必要です。
- ② 公民館を拠点とした、社会教育施設、各関係機関や団体との連携と多様な学習活動のニーズに対応できる環境づくりが必要です。
- ③ 地域の教育資源や人材の掘り起こしと、文化・スポーツ、生涯学習指導者の養成が必要です。
- ④ 社会教育施設の適正な維持管理と計画的な改修が必要です。

(3) 重点目標

① 生涯学習環境の整備活用と人材育成

(4) 推進内容

- ① 専門職員の配置と社会教育担当職員の資質向上のための研修機会の拡充に努めます。
- ② 各社会教育関係団体、学校、町民による連携・協力体制の環境づくりに努めます。
- ③ 文化・スポーツ団体等の活動紹介や指導者について情報提供をし、会員増に向けた啓発に努めます。
- ④ 地域人材の掘り起こしと、文化・スポーツ振興基金を活用した指導者育成の支援に努めます。
- ⑤ 海外への研修等を通して、子どもたちに視野の拡大と国際感覚を身につけることを推進します。
- ⑥ 公民館各種設備の維持管理に努めます。

(5) 主な具体的活動

- ① 管内・全道規模の各種研修会、セミナーへの参加と研修成果の活用
- ② 和寒町の社会教育の発行
- ③ 文化・スポーツ振興基金の活用
- ④ 広報誌、町ホームページ等を活用した定期的な文化・スポーツ団体等の活動紹介と情報提供
- ⑤ 和寒町未来を拓く人づくり推進事業の促進
- ⑥ 老朽化した公民館施設設備の更新



片栗庵のつどい



北原交流展示館

第2節 文化活動の振興

1. 芸術文化活動の充実

(1) 現 状

人生を楽しく豊かに生活していくためには、文化やスポーツ等をとおしての生きがいがづくりが必要です。生活意識や価値観の多様化が進み、物質的な豊かさのみならず、精神的な豊かさややすらぎを求めて、芸術・文化への関心が一層高まっています。芸術・文化は、町民に感動や刺激を与えるとともに、創造性を伸ばし豊かな人間性を育みます。

本町における文化活動の普及は、文化団体連絡協議会を中心として、「短歌」「茶華道」「合唱」「舞踊」等の団体、サークルがそれぞれ独自の活動を行っています。

しかし、既存団体への新規加入者の減少や会員の高齢化に伴い加盟団体数、会員数が共に減少し活動は依然として厳しい状況です。

また、北原交流展示館や町民文化祭での作品展や芸能発表会をとおして、各文化団体やサークルの学習活動の成果を発表する機会を提供していますが、出展者と発表者が減少し、子どもから高齢者までより多くの方が参加できるような方策や展示方法の工夫、PR活動を強化し新たな団体・サークルの育成を奨励していくことが必要とされています。また、剣淵町や天塩町と町民文化祭の作品展、芸能発表会で相互交流を行っており、今後も交流を継続していきます。

芸術文化鑑賞については、恵み野ホール自主企画事業をはじめ、小中学校芸術鑑賞事業等を毎年実施し、多くの町民や児童生徒に質の高い芸術文化にふれる機会を提供しています。

このことから、芸術文化活動を一層活発にしていくためには、関係団体の自主的活動への支援や活動状況の紹介と、きっかけづくりとして、より多くの町民が興味関心を抱くことができる芸術文化の鑑賞機会の充実等、文化活動の裾野の拡大が求められています。

(2) 課 題

- ① 高齢化、固定化する文化団体への活動の支援や町民への活動状況の紹介が必要です。
- ② 発表機会の充実や自主的な企画・発表に向けての働きかけが必要です。
- ③ 多くの町民に興味関心を持ってもらえる芸術文化鑑賞事業の企画が必要です。

(3) 重点目標

① 芸術文化活動の充実

(4) 推進内容

- ① 文化団体・サークルの活動状況の紹介や会員増に向けた情報発信に努めます。
- ② 町民文化祭や公民館講座等を活用した発表機会の充実に努めます。
- ③ 町民主体の文化活動への支援や、芸術鑑賞事業をはじめ芸術文化にふれる機会の充実に努めます。

(5) 主な具体的活動

- ① 広報誌、町ホームページ等を活用した活動の紹介
- ② 町民文化祭の充実（剣淵町との相互文化交流等）
- ③ 恵み野ホール自主企画事業の実施
- ④ 小中学校芸術鑑賞事業の実施
- ⑤ 文化団体・サークル団体等を講師とした公民館講座の実施



町民文化祭芸能発表会



芸術文化公演会「渡辺美里ライブ」



町民文化祭作品展



小中学生芸術鑑賞事業「クラシック面白いコンサート」

2. 郷土文化の継承

(1) 現 状

先人から受け継いできた郷土の歴史や文化を次世代に継承していくために、町民一人ひとりが郷土愛を持ち、地域文化の継承者であるとの自覚に立ち、町の歴史や伝統、文化を正しく次世代に伝承していく環境が重要です。

本町では、昭和47年に郷土資料館を開館し、郷土資料の収集・保存・展示を行い、平成16年には旧西和小学校を第2郷土資料館として開館し、資料の保存・展示に努めてきました。その後、平成29年に旧西和小学校校舎の解体に伴い、旧和寒中学校へ資料を移転し、文化財保護委員と収蔵資料支援員が、分散している廃校資料の整理を行い、集約化に努めました。

平成11年に「神楽面」「ペオッペ駅通所跡」「分村記念の松」「東和ミズナラ」、平成23年に「青い目の人形」と無形文化財「稚児舞」を和寒町指定文化財としましたが、平成24年に「分村記念の松」と「東和ミズナラ」が指定解除となりました。

文化財保護委員会の中で、平成27年に和寒町が開村100周年を迎えて、和寒町の歴史を振り返り、解体された歴史的な建造物等を次世代に伝えていくために、平成29年に「和寒村役場庁舎」、「松岡農場事務所」、平成30年に「旧郵便局」の跡地看板を設置しています。

これからも、町内の貴重な資料や文化を後世に継承していくために、有形文化財※1の調査、活用と郷土の特色ある芸能や技術等の無形文化財※2の保護が重要です。

また、郷土資料館の資料の整理や運営、活用方法についても文化財保護委員や関係機関と協議していく必要があります。

このことから、本町の歴史・文化を知る上で郷土資料館の充実と文化財の保存、活用が求められています。

(2) 課 題

- ① 郷土資料館の整備充実と収蔵資料の整理、展示方法の工夫が必要です。
- ② 有形文化財や歴史的建造物跡地等の調査・収集・保存・活用が必要です。
- ③ 郷土史に関する芸能や技術等の無形文化財の保護や継承が必要です。
- ④ 郷土資料、文化財に親しむ機会の提供と情報の発信を学校や地域に行い、保存活用の啓発の必要があります。

※1 有形文化財：建造物や美術工芸品等の有形の文化的所産を意味し、歴史上または芸術上価値の高い資料。

※2 無形文化財：演劇、音楽や工芸技術等の無形の文化的所産。

(3) 重点目標

① 文化財の保存と活用の推進

(4) 推進内容

- ① 郷土資料館収蔵資料及び収蔵資料データの整理に努めます。
- ② 学校教育、社会教育事業と連携のもと、郷土資料館や指定文化財を活用した事業の展開やインターネット等を活用した情報の発信に努めます。
- ③ 有形文化財の調査・保存・活用や無形文化財の保護や継承に努めます。

(5) 主な具体的活動

- ① 町ホームページを活用した文化財の情報発信や収蔵資料データベースと古いアナログ映像のデジタル化の推進
- ② 小中学校と連携を図り、郷土史や町指定文化財等についてのふるさと学習の実施
- ③ 郷土史や郷土文化に詳しい人材による、ふるさと講座や郷土文化を学ぶ体験教室の実施



和寒町指定文化財「稚児舞」



和寒町指定文化財「青い目の人形」



和寒町郷土資料館



郷土資料館の内部

3. 読書活動の推進

(1) 現 状

図書館は、読書をはじめとする情報サービスを地域の住民に提供し、そのレクリエーションや学習支援の推進をとおして、生涯学習の基盤となる施設です。

開館以来、郷土資料の収集や一般資料の充実を図るとともにレファレンス※1をはじめとする各種の図書館サービスや事業の開催等をとおして町民の読書推進や学習意欲の充足に努めてきました。

現在約87,000冊の蔵書と2,700点の視聴覚資料を所蔵し、町民1人あたりの年間貸出冊数は、例年高い水準を維持しており、所蔵資料の利用が活発に行われていることがわかりますが、近年、生涯学習利用の増加に伴い、より多岐に渡る幅広い資料提供が求められており、蔵書の相互貸借をはじめとした町外図書館との連携を欠くことはできません。

また、ブックトーク※2や配本をはじめとする学校との連携事業やブックスタート※3、ボランティアおはなし会といった絵本をとおした子育て支援等が「和寒町子ども読書活動推進計画」に沿って実施されている他、町民の興味や学習意欲を高めるための各種事業の開催等様々な取組が、地域の関係機関団体との連携をとおして実施されています。

こうした事業展開のもと、安定した利用を維持してきましたが、一方で、利用者の固定化といった傾向は根強く、図書館情報の発信等の啓発活動を効果的に促進していくことで、未利用者への働きかけを図っていく必要があります。

今後も地域の情報拠点として、時代やニーズに対応した魅力ある資料の提供に努めるとともに充実したサービスの継続に向けて専門職員の配置と資質の向上を図り、子どもから高齢者まで幅広い世代の多くの町民が気軽に利用できる学びの場として、地域の活性化に貢献していくことが求められます。また、経年劣化による各種設備の整備に留意し、安全で快適な読書環境を提供していくことが大切です。

(2) 課 題

- ① 図書館機能の強化や関係機関団体との連携を持った事業の開催をとおして、読書活動や生涯学習支援を充実させていくことが必要です。
- ② 幅広い資料提供をとおして、さまざまなニーズに対応することが必要です。
- ③ 安全で快適な環境で、読書活動を楽しむことができるように、図書館施設の環境整備に努めることが必要です。
- ④ より多くの方に利用していただくため、未利用者への働きかけが必要で

※1 レファレンス：利用者の調べ物や求めている本・資料等を探す手伝いをする事。
※2 ブックトーク：ある一つのテーマにそって、複数の本を順序立てて紹介すること。
※3 ブックスタート：「赤ちゃんと一緒に絵本を楽しむことの大切さ」を伝え絵本を手渡し、赤ちゃんとその保護者が絵本を介してふれあいの時間を持つきっかけをつくる運動。

(3) 重点目標

- ① 生涯学習支援の強化と読書推進活動の充実
- ② 読書環境の整備
- ③ 図書館や読書活動に関する理解・関心の普及啓発

(4) 推進内容

- ① 多種多様化する町民ニーズや社会の変化に対応できるよう、レファレンスサービスをはじめとした各種図書館サービスの強化に努めます。
- ② 社会教育事業やボランティア、学校等各関係機関団体と連携をとり、相乗効果を持って多様な活動が展開できるように努めます。
- ③ 多岐にわたる分野において、ニーズに対応できるように、幅広い資料提供に努めます。
- ④ 安心して気持ちよく利用してもらえるように、各種設備の整備を図ります。
- ⑤ 広報活動をととして、蔵書や図書館活動についての情報提供に努めます。

(5) 主な具体的活動

- ① 職員の資質向上や各種図書館サービスにおける技術強化のための研修会・研究会への積極的な参加。
- ② 家読、ブックスタート、配本、おはなし会等、関係機関団体と連携を持った各種事業の開催やボランティア、学校への読書活動支援
- ③ 蔵書の充実と、町外図書館との協力による相互貸借システムの活用
- ④ 老朽化した図書館施設設備の更新
- ⑤ 広報誌、防災無線、ホームページや特設コーナーの設置等による様々な図書館情報の提供



「図書館ツアー」で調べ物クイズに取り組む小学生



ボランティアによる赤ちゃんおはなし会

第3節 スポーツ活動の振興

1. 誰もが親しめるスポーツ機会の拡充

(1) 現 状

本町は、昭和58年6月に「スポーツの町」宣言を行い、町民皆スポーツを推進してきており、これまでに年代や体力に応じたスポーツ教室の開催や、団体等への活動支援、情報提供等のスポーツ人口の拡大へ向けた取り組みを実施してきました。健康で充実した生活を営むためには、生涯にわたり誰もがそれぞれの体力や年齢、性別、障がいの有無、技術、興味、目的に応じてスポーツに親しむことができる環境の充実が求められています。

近年は少子高齢化の進行や e-sports のような新たな競技の誕生により、団体スポーツの活動が難しくなっていますが、一方で個人競技では全道・全国の舞台で優秀な成績を収めてきており、スポーツをする人とならない人の二極化が進んでいます。

町民一人ひとりが心身ともに充実した生活を営むためには、健康であることが大切であり、スポーツに親しむことができるスポーツ機会の充実を図ることが必要とされています。

今後のスポーツ機会の充実にあたっては、スポーツを生活の一部とし、誰もが参加できるスポーツ機会の提供と、スポーツ人口の拡大を目指した取り組みをしていくことが求められています。

(2) 課 題

- ① スポーツを身近な生活の場に取り入れ、誰もがスポーツに参加できる環境づくりが必要です。
- ② スポーツを通じた世代間の交流機会の充実が必要です。



町民大運動会「輪くぐりリレー」



町民大運動会「玉入れ」

(3) 重点目標

- ① スポーツに親しむ機会の拡充
- ② スポーツ人口の拡大と組織強化
- ③ スポーツをととした交流活動の推進

(4) 推進内容

- ① スポーツを身近に感じられるよう、町民のニーズに対応したスポーツ活動を実施し、スポーツ参加機会の充実に努めます。
- ② 各スポーツ団体やスポーツ少年団の活動を支援することでスポーツを楽しむ環境をつくり、スポーツに関わる人口の拡大を図ります。
- ③ 各種スポーツ大会や総合型地域スポーツクラブの活動をととして異世代間のスポーツ交流に努めます。

(5) 主な具体的活動

- ① 各種スポーツ大会・教室の開催
- ② スポーツ団体・少年団への補助や組織強化
- ③ 総合型地域スポーツクラブの推進



スキー場ヒルクライムレース



町民スキー大会



水泳教室



総合型地域スポーツクラブ「わっさむフレンドパーク」

2. スポーツの基盤の整備充実

(1) 現 状

本町は、スポーツ活動の中心となる総合体育館や総合運動公園広場、東山スキー場、パークゴルフ場、町営球場等のスポーツ施設の整備を行ってきました。

スポーツ施設は、平成20年度から指定管理者制度を導入し、民間活力を利用して町民が利用しやすい管理運営に努めています。

またソフト面では、指導者の資格取得等に係る費用の一部を助成する等、関係団体と連携しながら人材の育成を図っています。

今後も町民がスポーツを身近に感じ、いつでも気軽に安心してスポーツ活動を行うことのできる施設整備と、団体活動に対する支援や指導者の育成等の両面からスポーツ基盤の整備を行うことが必要とされています。

(2) 課 題

- ① スポーツ人口の拡大を目指した団体の組織強化や指導者育成等のスポーツ基盤の整備が必要です。
- ② スポーツ施設の効率的な活用と、スポーツ環境の整備が必要です。

(3) 重点目標

- ① **スポーツ人材の確保・育成**
- ② **スポーツ施設の整備、管理運営の充実**



道北最大級の「総合体育館」



道内外から幅広く利用のある「研修館楡」

(4) 推進内容

- ① スポーツに親しむ機会を支える指導者・ボランティア等を確保するため、資格取得や研修等の支援に努めます。
- ② 指定管理者と連携し、施設の効率的、効果的な運営に努め、だれもが利用しやすい施設環境と、管理運営に努めます。

(5) 主な具体的活動

- ① 指導者の資格取得等に対する支援
- ② スポーツ施設の維持修繕と備品等の更新



町営球場



B & G海洋センタープール



和寒東山スキー場



総合体育館トレーニングルーム

【 資 料 】

- (1) 「町の社会教育団体に関する実態調査」調査結果の概要
- (2) 諮問文
- (3) 答申書
- (4) 和寒町社会教育中期振興計画策定委員会要綱及び分掌
- (5) 第9次和寒町社会教育中期振興計画策定委員会組織
- (6) 第9次和寒町社会教育中期振興計画策定の経過



策定委員会全体部会



社会教育振興部会



文化振興部会



スポーツ振興部会

「町の社会教育団体に関する実態調査」 調査結果の概要

令和2年12月
和寒町教育委員会

1 調査の目的

和寒町における社会教育団体実態およびニーズを把握し、第9次和寒町社会教育中期振興計画策定のための資料とする。

2 調査の内容

- ・各団体の年代別・男女別の人数
- ・各団体の活動内容
- ・各団体の問題点、問題解決の取組
- ・団体が活発化するための町の支援
- ・利用している施設や社会教育に関する意見提言

※各項目、自由記述方式等で回答

3 調査対象団体

- ・和寒町に設立されている社会教育団体
 - ・文化関係団体（18団体）
 - ・文化関係少年団体（1団体）
 - ・体育協会加盟団体（16団体）
 - ・スポーツ少年団（7団体）
 - ・教育諸団体（1団体）

計 43団体

4 調査実施時期

令和2年8月8日 ～ 8月28日

5 調査方法

- ・依頼文をつけ、郵送調査。後日回収
- ・必要に応じ、電話聴き取りや団体訪問を行う。

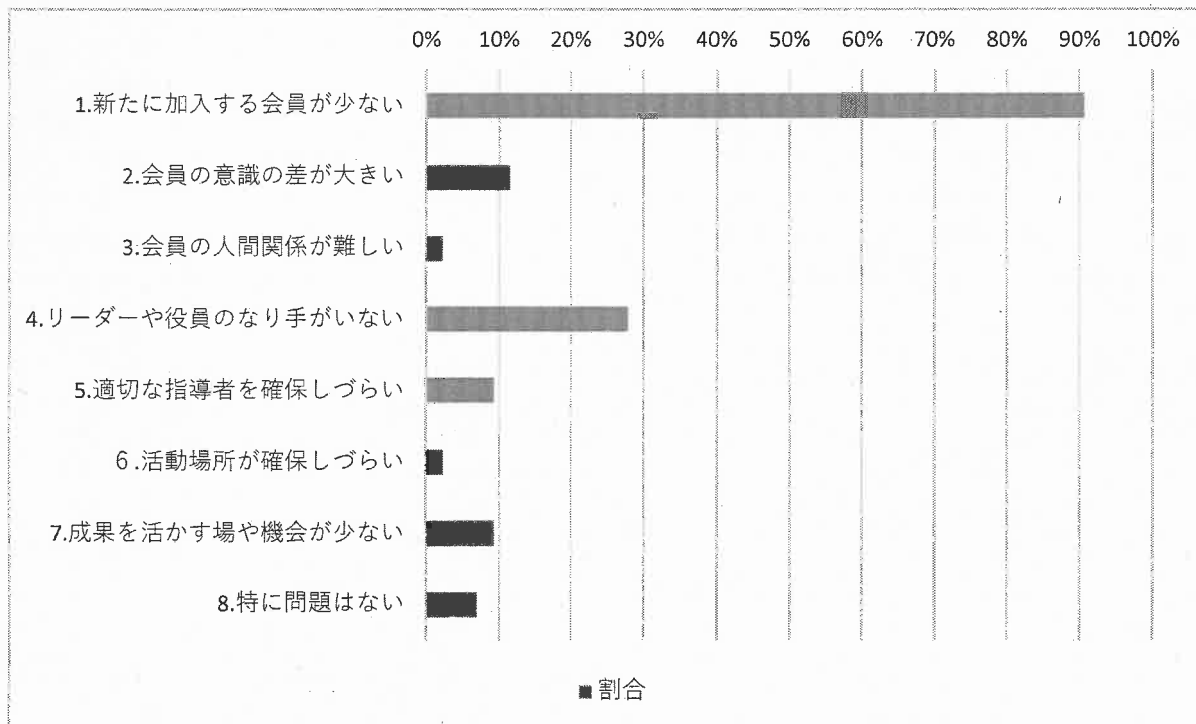
※ 調査実施者：教育委員会 社会教育係

問1 団体の年代別の人数

年代・人数	文化	スポーツ	教育	合計	和寒町人口	年代加入率
20代未満	19	109		128	426	30%
20代	11	46		57	180	32%
30代	18	58	3	79	224	35%
40代	20	73	7	100	357	28%
50代	32	79	3	114	373	31%
60代	35	56		91	475	19%
70代以上	121	179		300	1,194	25%
合計	256	600	13	869	3,229	27%

問3 団体の抱える問題点は何ですか？

問題点 複数回答	1. 新たに加 入する会 員が少な い	2. 会員の意 識の差が 大きい	3. 会員の人 間関係が 難しい	4. リーダー や役員 のなり手 がない	5. 適切な指 導者を確 保しづら い	6. 活動場所 が確保し づらい	7. 成果を活 かす場や 機会が少 ない	8. 特に問題 はない
合計	39	5	1	12	4	1	4	3
割合	91%	12%	2%	28%	9%	2%	9%	7%



文化団体

問1 団体の年代別・男女別の人数についてご記入ください	問3 団体の抱える問題点は何ですか？ (複数回答)	問3-1 問3で回答した問題点を解決するために、団体ではどのような取組をしていますか？	問4 今後、団体の活動をどのように行っていきたいですか？	問5 今後、町民の皆さんの活動を活発にするために、町があなたの団体と一緒にできることはありますか？	問6 その他、利用している施設や普段感じていることなど、ご意見ありましたらご自由にご記入ください。
60代男1名 60代女2名、 70代以上女1名 合計4名	1.新たに加入する会員が少ない 3.会員の人間関係が難しい 4.リーダーや役員のなり手がいない	・特に取組んでないです。	・休会にならないように、なんとか現状維持していきたいです。	・難しい課題ですのでなかなか思いつかないです。	・今年はコロナのせいで町の行事や各種催しがすべて中止になってしまいました。 ・今は一刻も早くコロナが終息して、前の日常に戻る事を願っています。
70代以上男2名 20代女1名、 60代女2名 70代以上女9名 合計14名	1.新たに加入する会員が少ない 4.リーダーや役員のなり手がいない 9.その他、高齢者が多く、若年者が少ない、男性が少ない	・意識ある個人が声掛けをしている。 ・団体としては歌会の時に周知し、個人の協力を仰いでいる。	・今の活動を続けて行きたいが、リーダーや役員が高齢になっているので、今後が不安だ。 ・パソコン操作できる人を増やしていききたい（入会してほしい）。	・短歌教室を通して文化の振興に努めたい。	・文芸和寒に投稿してくれる人が少ないので、もう少し教育関係者を中心に呼びかけをしてほしい。（文芸和寒のページ数が少ない）
30代女1名、 40代女1名 50代女1名、 60代女4名 70代以上女6名 合計13名	1.新たに加入する会員が少ない	・茶会、花展への案内、体験への勧め	・華道、茶道ともかなり金銭の負担がある。 ・和寒町には片栗庵があるので少しでも身近に考えてほしい。	・少しの間でも片栗庵を冬季に使用したい。（夏と冬では点前が違うので） 今、図書館に花を活けているが、役場とかでも多くの人に見ていただく場があればと。	・前項にも書いたが片栗庵が冬季使用できないため、11～5月にかけての点前ができない。冬季休み前に茶道関係者に聞いてほしかった。 ・華道においては農水省の花き振興のためにいけ花を推進、文化庁においても伝統文化子供華道教室が多くの市町で広く開催されている。
70代以上男3名 70代以上女3名 合計6名	1.新たに加入する会員が少ない 5.適切な指導者を確保しづらい	・口コミで知人、友人に勧誘しているが中々成果があがらず、仲間を増やす事が出来ない状況である。	・鑑賞菊作りは日本古来の文化とされているので、若い人も含め会員を増やし、この文化を末永く継承したいものとする。	回答無し	・利用している施設については十分満足しています。
50代男1名、60代男1名 60代女2名、70代以上女11名 合計15名	1.新たに加入する会員が少ない 5.適切な指導者を確保しづらい	・なにもしていない	・このまま	回答無し	回答無し
60代女1名、 70代以上女7名 合計8名	1.新たに加入する会員が少ない 8.特に問題はない	・各種茶会等で声かけをしている。	・現状維持 ・会員を増やして活動していきたい。	1.片栗庵を生かした取組（花見・お祭り茶会等） 2.小学生・中学生の片栗庵体験学習 3.中学生の部活動取組	・町民センター婦人研修室を使用させて頂いています。 四畳半茶室の畳が古くなっています。急ぎませんが、よろしく願い致します。

問1 団体の年代別・男女別の人数についてご記入ください	問3 団体の抱える問題点は何ですか？ (複数回答)	問3-1 問3で回答した問題点を解決するために、団体ではどのような取組をしていますか？	問4 今後、団体の活動をどのように行っていきたいですか？	問5 今後、町民の皆さんの活動を活発にするために、町があなたの団体と一緒にできることはありますか？	問6 その他、利用している施設や普段感じていることなど、ご意見ありましたらご自由にご記入ください。
40代女1名、 60代女1名 70代以上女4名 合計6名	1.新たに加入する会員が少ない	・人口減少、高齢化、少子化、と会員減少の要因は考えられるが、日本伝統文化への関心も少なく、世相なのかと考えます。 文化の伝承を思う時、子供達の関心が大切と思いますが、スポーツへの関心が高く、なかなか難しく思います。	・会員数も少なく、高齢化ではありますが、年齢にこだわらず、今まで通り活動して行きます。	・社会教育で可能と思う事は、講習の場を考えて頂きたい。	回答無し
60代男1名、 70代以上男9名 70代以上女5名 合計15名	1.新たに加入する会員が少ない	・回答無し	・回答無し	・回答無し	・どの会も会員が減少していると思いますが、願わくはバスを出して頂きたい。(研修等)
20歳未満男1名 30代男3名 40代男1名 60代男3名 70代以上男3名 30代女3名 40代女1名 合計15名	1.新たに加入する会員が少ない 8.特に問題はない	・イベントなどで太鼓を叩いてPRしています。(少年団と保存会)	・町内外の各種イベントに参加 ・少年団の育成をして町内に残って保存会に加入をしてもらいたい。	・町内の仕事の確保が出来るようにしたいです。 ・町内のイベントへ参加出来るようにしたいです。	回答無し
60代女2名、 70代以上女9名 合計11名	1.新たに加入する会員が少ない 4.リーダーや役員のなり手がいない 7.成果を生かす場や機会が少ない	・声掛け ・ボランティア(慰問)	・高齢化の中、新加入の促進だけではなく、既存会員が長く続けて行けるよう(練習・曲・演奏)内容等の見直し。	・今は町民の方々に発表できる場は町民文化祭だけなので、もっと演奏できる場があれば良い(他町では年2回発表できる場があるようです。)	・回答無し
60代男3名、 70代以上男9名 70代以上女2名 合計14名	1.新たに加入する会員が少ない 6.活動場所が確保しづらい 7.成果を生かす場や機会が少ない 9.その他、会員の高齢化	・50年以上の歴史を持つ当会では過去には20代の会員が過半数を占めていたが、現会員が各々口頭で加入希望者を募っている。	・人口減少と高齢化の進むなかで現状維持が大変。	・交通手段の確保 ・展示場所の確保(市街中心部)	・町立図書館(大変協力的ですばらしい) ・北原交流展示館(遠すぎて見学者が行きづらい)

問1 団体の年代別・男女別の人数についてご記入ください	問3 団体の抱える問題点は何ですか？ (複数回答)	問3-1 問3で回答した問題点を解決するために、団体ではどのような取組をしていますか？	問4 今後、団体の活動をどのように行っていきたいですか？	問5 今後、町民の皆さんの活動を活発にするために、町があなたの団体と一緒にできることはありますか？	問6 その他、利用している施設や普段感じていることなど、ご意見ありましたらご自由にご記入ください。
40代男2名、 50代男2名 60代男2名、 70代以上男12名 70代以上女6名 合計24名	1.新たに加入する会員が少ない 2.会員の参加意識の差が大きい	・問3-1については設立当時には会員が52名でスタートいたしましたが平成25年度の会員数は45名となり現在では24名と大幅に減少しております。 又、例会参加者も25年度は246名が参加し現在では168名とこれも大幅な減少となっています。 今後においては会員一丸となり新会員の加入を進めて参ります。	・先ず第1に会員の増員を図ること。設立時は会員52名、3年後の平成25年度は45名となり現在は25名と大幅な減員となっています。これを是非10名増の35名を目標に会員全員が一丸となり新会員の加入を促進して参ります。	・和寒文化団体連絡協議会の行事には積極的に参加し、そば会としては先ずそばに関する様々な情報交換や共同体験や町のイベントへの参加を通してそば愛好者のネットワークを形成しわっさむそば文化の発展及び地域の活性化に寄与するよう努力します。 又、町内にあっては各施設等への慰問と、今年で5回目を迎える札幌自由が丘三和高等学校及び東学校の生徒によるそば教室の開催等教育委員会の支援をいただき実施して参ります。	・そば会の活動場所は大変恵まれており、協会としては大変ありがたく何の問題ありません。心から感謝しております。 又、きれいな会場を汚さないよう終了後の後片付、清掃等には念を入れ会員皆の合言葉「使用後はきれいに元に戻す」これを全員が実施していきます。 もし何かありましたら役員にお知らせくださるようお願いいたします。 調理室及びそば打ち会場等に利用出来ることに会員一同心より感謝いたしております。
20歳未満女2名、 50代女1名 60代女2名、 70代以上女2名 合計7名	1.新たに加入する会員が少ない	・人口減少、高齢化など難題 ・茶道は難しい作法はあるが、まずは気軽にお茶を飲んでいただく。お菓子、花、道具の取り合わせなどで季節やテーマを楽しんでもらう事で身近に感じてもらう。	・消極的ですが現状維持	・お茶会でお茶をのんでいただくだけではなく、体験できる機会があるとより興味を持ってもらえるかも… (お運び、お茶を点てるなど)	・行事等で手厚くサポートしていただき大変ありがたいです。
70代以上男2名 60代女1名、 70代以上女7名 合計10名	回答無し	・支部としては、新規加入者の確保に努力している。(会員に報奨金を支給)	1.町内の人口動態を考えると、更なる発展は難しいと思うが、大会・発表会等には積極的に参加しアピールしていく。 2.日常活動が大事、町民の皆さんの眼に見える活動が必要と思う。(活動状況の紹介など)	1.加盟団体の活動状況(例会等)を「お知らせ版」等で毎号掲載するなど、町民の皆様に関心をもってもらえるような働きかけをしたらどうか。(日常活動の紹介)	1.現在、町民センター 青年研修室を利用させていただいておりますが、特に不便等を感じることはありません。 2.会員の減少により会の収入が減少することから、会費の引き上げなどを余儀なくされており、助成金は会員の経済的な負担の軽減や、活動の励みになっており感謝しております、引き続き町のご理解とご協力をお願いいたします。
30代男7名、40代男9名 50代男16名、60代男4名 40代女1名、50代女2名 60代女1名 合計40名	1.新たに加入する会員が少ない	・会員からの紹介で神輿に対し理解と関心のある人物を誘い、1年間体験をしてもらい入会に繋げる。	・今まで通り	・比布、上川、下川町等自治宝くじ助成備品を利用して半纏を購入し、役場の若手職員が毎年20名程神社祭に参加している。これからこのような事も必要になってくるかもしれない。	・土別天塩川まつりに参加する際に毎年バスを利用してくださり感謝致しております。

問1 団体の年代別・男女別の人数についてご記入ください	問3 団体の抱える問題点は何ですか？ (複数回答)	問3-1 問3で回答した問題点を解決するために、団体ではどのような取組をしていますか？	問4 今後、団体の活動をどのように行っていきたいですか？	問5 今後、町民の皆さんの活動を活発にするために、町があなたの団体と一緒にできることはありますか？	問6 その他、利用している施設や普段感じていることなど、ご意見ありましたらご自由にご記入ください。
40代男1名、50代男1名 60代男2名、70代以上男6名 40代女1名、70代以上女3名 合計14名	1.新たに加入する会員が少ない 4.リーダーや役員のなり手がいない 9.その他、発表会に参加する人がいつも同じになる。 ・大勢の前だとあがってしまうから ・恥ずかしい	・説得して理解してもらう。	・現在は新型コロナウイルスで全て中止している。 ・終息の状況を注視しながら活動を再開したい。	・通信カラオケで「塩狩峠」という曲がありますが、画面には海があったり実際とは異なっており、地元和寒の風景を入れたプロモーションビデオを作成する事が出来れば、町のPRにもつながり、町が進めている塩狩を観光とする事業にも反映出来ると思いますので、是非企画に取り組んではいかがですか。	回答無し
20代男1名、30代男1名 20歳未満女1名、20代女9名 30代女3名、50代女2名 60代女8名 合計25名	1.新たに加入する会員が少ない	・SNSを活用し、新メンバーを募集しています。	・引き続き、各地のイベントや大会に参加し、YOSAKOIソーランを通して、和寒町をPRすると共に、感動と元気を届けていきたいです。	・小中学生へのYOSAKOIソーラン体験	・環境の整った施設で練習できることやイベントの際のご協力にはとても感謝しています。
	1.新たに加入する会員が少ない 4.リーダーや役員のなり手がいない	・町から補助金をいただきながら、加盟団体が現在の活動を維持できるよう支援をしている。	・加盟団体が減少しないよう支援を行い、生きがい（発表の場）の確保に努める。	・現在の関係を保持していただき、文化活動を通し元気なまちづくり、人との交流、文化の振興発展となるよう活動を継続していきたい。	回答無し
20歳未満男9名 20歳未満女6名 合計15名	1.新たに加入する会員が少ない	・小中学校に少年団の活動についてのポスターを掲示させてもらっている。	・子供の人数が減っていくのはどうしようもないので、今までどおり、楽しんでやってもらえるよう努力したい。	・少年団なので、特にないと思います。	回答無し
教育団体					
30代男3名、 40代男7名 50代男3名 合計13名	1.新たに加入する会員が少ない 4.リーダーや役員のなり手がいない	・役員の担当業務の見直しと全体化による業務量の分散。	・数少ない子供たちのための事業は継続していきたい。 ・さらに人数が減ってくることが予想されるので、対応できる新たな事業を考えたい。	・他市町村では事務局を行政が担っていることが多いと聞いています。役員の担い手不足解消や他市町村との連携を図りやすくなることが期待できるので検討いただきたい。	回答無し

体育団体

問1 団体の年代別・男女別の人数についてご記入ください	問3 団体の抱える問題点は何ですか？ (複数回答)	問3-1 問3で回答した問題点を解決するために、団体ではどのような取組をしていますか？	問4 今後、団体の活動をどのように行っていきたいですか？	問5 今後、町民の皆さんの活動を活発にするために、町があなたの団体と一緒にできることはありますか？	問6 その他、利用している施設や普段感じていることなど、ご意見ありましたらご自由にご記入ください。
60代男4名、 70代以上男45名 60代女1名、 70代以上女23名 合計73名	1.新たに加入する会員が少ない 4.リーダーや役員のなり手がいない 5.適切な指導者を確保しづらい	1.会員以外の町内パークゴルフ愛好家や、一般町民にも参加できる大会を2つ設けて参加を促している。 2.パークゴルフは三世代誰でも楽しめる軽スポーツです。子供達の体験にも積極的に協力し、理解・普及を図っている。	1.高齢者が70人近くおり、高齢者の体力増進・健康維持と交流の場として従来の活動を推進していきたい。 2.若い人・子供達にも普及し、会員の若返りを図っていききたいので、パークゴルフ体験教室などを企画したい。	・スポーツ協会主催の自治体対抗大会に協賛（主管）しており、パークゴルフ協会の存在を知ってもらいたい。	・町、教育委員会やスポーツ協会には、P G場の拡張や平素のコース管理にお礼、感謝申し上げます。
30代男4名、 40代男1名 50代男3名、 60代男4名 合計12名	1.新たに加入する会員が少ない	・経験者は勿論、未経験者（少年団の父母）への勧誘を直接行っている。これまで、未経験者で社会人の初段獲得者も数名出ている。 しかし、近年では少年団も含め新規加入が少ないため苦慮している。 現在、少年団を卒業し高校、大学と柔道を続け、卒業後和寒町へ戻ってくる予定の子もおり、連盟員として又、指導者になってもらうことを期待している。	・数年前より連盟員は減少したが、協力的な連盟員ばかりであり、今後も現在の活動を維持継続していきたい。	・未経験者の勧誘は難しく、少年団等での経験者（子供たち）がいずれ地元へ帰ってきてくれるような取組が必要だと感じている。	・施設利用等含め、活動が行いやすい環境で連盟員も満足している。
50代男1名、 60代男1名 70代以上男19名 60代女1名、 70代以上女3名 合計25名	1.新たに加入する会員が少ない	・役員が積極的にPRしながら会の拡大に向けて努力しております。なかなか厳しいものがあります。	・現在の会員の皆さんの年齢は高いですが、気持ちは若くして楽しんでおりますので引き続き活動をつづけていきます。	・S Pゴルフは、町が考案したスポーツなのに余りこれまでPRされているようには思われません。町と一緒に出来ることは、過疎化と高齢化の時世だからこそ職員の皆さんにも積極的に参加されることがこの会も盛り上がると思われれます。期待しております。	・スポーツとは関係ありませんが、三笠山の句碑の森ですが現在通路は草刈りをしているようですが、句碑の周りが鬱蒼としており余り入っていけるようには思えませんが？ 提案ですが、句碑の森を茶室周辺に下ろすのが文化的な環境は良いと思います。しかしながら、パークゴルフコースがありますので無理ですが、ぜひ町民の皆さんに容易に句碑に楽しめる場所を考えてはどうか。
50代男2名、 60代男4名 70代以上男3名 合計9名	1.新たに加入する会員が少ない 9.その他、昇段審査を受けるための稽古には、他の市・町へ行って剣友同志又は、指導者の指導を仰がなければ、成果があがらない（例:北見市、旭川市等）	・社会人の加入は、極めて困難。剣連の存続のために少年団育成に努めているが、これも少子化の中で先細りの状況であるが、ポスターなどでの加入促進を図っている。	・会員が例会に参加できない。稽古にも出席できないが、町内大会（少年団）の運営、剣道大会の誘致と主管運営を継続していきたい。	・武道は、マイナーなスポーツで基本稽古をしっかりと身につけなければ、ケガもあり、とっつきにくい競技ですが、学校教育で剣道を取り入れてくれるよう検討していただきたい。	回答無し

問1 団体の年代別・男女別の人数についてご記入ください	問3 団体の抱える問題点は何ですか？ (複数回答)	問3-1 問3で回答した問題点を解決するために、団体ではどのような取組をしていますか？	問4 今後、団体の活動をどのように行っていきたいですか？	問5 今後、町民の皆さんの活動を活発にするために、町があなたの団体と一緒にできることはありますか？	問6 その他、利用している施設や普段感じていることなど、ご意見ありましたらご自由にご記入ください。
20代男1名、50代男6名 60代男2名、70代以上男2名 30代女2名、40代女1名 50代女4名、60代女3名 合計21名	1.新たに加入する会員が少ない 2.会員の参加意識の差が大きい 4.リーダーや役員のなり手がいない 7.成果を生かす場や機械が少ない 9.その他、会員が高年齢になり、練習に参加するのも難しくなっているため、練習に参加できる人が限られている。(人数がそろわず練習できない)	・今のところ、取組は特にしていません。	・少しでも参加してもらえる人を増やして、練習をしていきたい。	・レクリエーションのような形でも、バドミントンを楽しんでもらえるような場があると良いかと思います。	回答無し
20代男1名、30代男4名 40代男6名、50代男4名 60代男1名、70代以上男1名 20代女1名、40代女3名 50代女3名 合計24名	1.新たに加入する会員が少ない 4.リーダーや役員のなり手がいない	回答無し	・現状維持	回答無し	回答無し
30代男2名、40代男2名 50代男9名、60代男5名 70代以上男5名 40代女1名 合計24名	1.新たに加入する会員が少ない 9.その他、練習場所の確保	・町民ゴルフ教室を開催しゴルフ競技人口を増やす活動を行っている。 ・シーズン中(夏季)の練習例会開催を検討している。	・現在行っている活動を継続していく。	・シーズン中(夏季)安価にゴルフ練習できる施設を町民に開放していただきたいと要望いたします。→町民が気軽に利用できるようゴルフ協会として協力いたします。	・ひだりまりのグラウンド(地面)に傾斜があるため水平にしてほしい。 ・シーズン中(夏季)練習できる施設を確保したいと考えています。
20代男2名、30代男2名 40代男4名、50代男4名 60代男1名、70代以上男5名 40代女1名、60代女1名 合計20名	1.新たに加入する会員が少ない	・今年度より全町ソフトボール大会に参加するチームから役員を選出してもらっている。	・町民の間に広くソフトボールを普及奨励し、さらに大会参加者を増やしたい。	回答無し	回答無し
20代男11名、30代男19名 40代男21名、50代男10名 60代男2名 合計63名	1.新たに加入する会員が少ない 8.特に問題はない	・各加盟団体での声かけを通じて会員を募っています。	・現状を維持し、これまで開催してきた各種大会を今後も継続して開催できるように体制を整えていきたいです。	・球場等、施設整備が必要な場合は対応をお願いいたします。	回答無し
20歳未満男27名、20代男1名 30代男4名、40代男5名 50代男3名、70代以上男2名 20歳未満女16名、40代女1名 50代女2名 合計61名	4.リーダーや役員のなり手がいない 5.適切な指導者を確保しづらい	・指導者の確保に苦慮していますが、資格が必要であったりすることから、特段取り組みといえるようなことはできていません。	・団員数は多く、指導者が不足気味の為、十分に指導者を確保した中で、一人ひとりの負担を減らしていけたら良いと思っています。	・指導者確保、育成の為に補助や団に対する助成を充実していただけますと幸いです。	回答無し

問1 団体の年代別・男女別の人数についてご記入ください	問3 団体の抱える問題点は何ですか？ (複数回答)	問3-1 問3で回答した問題点を解決するために、団体ではどのような取組をしていますか？	問4 今後、団体の活動をどのように行っていきたいですか？	問5 今後、町民の皆さんの活動を活発にするために、町があなたの団体と一緒にできることはありますか？	問6 その他、利用している施設や普段感じていることなど、ご意見ありましたらご自由にご記入ください。
20歳未満男12名 合計12名	1.新たに参加する会員が少ない	・小学校に協力してもらい団員募集広告の配布	・引き続き通常の練習から公式試合への参加	・公式大会の開催や指導者育成機会の場の開催	・和寒球場並びにひだまり等少年団活動にご理解頂き、施設を有効活用させてもらっています。
20代男1名、30代男1名 40代男1名、50代男2名 60代男4名、70代以上男9名 40代女1名 合計19名	1.新たに参加する会員が少ない 2.会員の参加意識の差が大きい	・町民向けの事業を展開し、老若男女にスポーツ機会を与え、スポーツに触れる場を提供している。	・加盟団体の活動を活発化させ、それぞれで大会を行っていただける様な働きかけを行う。 ・本部においては、自治会、町民に対し、運動を提供できる様な活動を展開したい。	・職員が少ないので、お力になることは限られてしまいますが、既存の大会や、新たな大会開催の際に、お力をお借りできると幸いです。	・指定管理事業で、合宿誘致を行っておりますが、合宿所の収容人数が少ないため、大口の合宿はできない。 ・また、部屋の間取りに対する、収容人数が多くせまく感じる。 ・浴場にトイレを設置すると衛生面の観点からすると良いし、浴場を使った日帰りプランなど、活動の幅が広がる。
70代以上男10名 60代女1名、 70代以上女11名 合計22名	回答無し	1.会員に対し、友人・知人に対する声掛けをお願いしている。 2.町民参加の大会の開催など。吹矢に対する町民の関心をもってもらうよう努めている。 3.防災無線やポスター掲示などPRに努めている。	1.町内の人口動態を考えると、会員の大幅な増加は難しいと思うが、町民の皆様（特に高齢者）の健康の維持・増進をアピールしていきたい。 2.日常活動が大事、町民の皆さんの眼に見える活動が必要と思う。（活動状況の紹介など）	1.加盟団体の活動状況（例会等）を「お知らせ版」等で毎月掲載するなど、町民の皆様に関心をもってもらうような働きかけをしたらどうか。（日常活動の紹介）	1.現在、町民センター大集会室を利用させていただいておりますが、的までの距離（10M）が確保できなくなっている。（上段位の会員が増加したため） 2.十分な広さの会場がない。（体育館は遠く・恵み野ホール照明が不十分） 3.活動助成金は、大会等の経費（参加費・交通費）が年々増加する中で、有効に活用させていただいておりますので、引き続きご支援・ご協力をお願いいたします。
20代男5名、30代男2名 40代男2名、50代男4名 60代男2名、70代以上男1名 50代女1名、70代以上女16名 合計33名	1.新たに参加する会員が少ない 2.会員の参加意識の差が大きい 4.リーダーや役員のなり手がいない	・例会に出ていただくことを伝えたりしている。また卓球をしたい人を探している。	・現在同様の活動を考えているが、人数が減ってきているのは事実のため、何かを考えていかなければならない。	・どこでどんな活動をしているのかを周知するというのはどうでしょうか。	回答無し
20代男3名、40代男3名 50代男2名、60代男2名 70代以上男6名 20代女1名、30代女2名 40代女5名、50代女5名 60代女5名、70代以上女6名 合計40名	1.新たに参加する会員が少ない 2.会員の参加意識の差が大きい	・会員同士の声掛けは実行しています。	・誰でも出来るスポーツとして協会員を始め町民の健康作りの一端となるような活動を続けたいと思っております。	・町民対象の大会には助成金も頂き有難く思っていますが各企業とか団体の方々にも参加できる方法があれば良いと思っています。	・現在は小学校の体育館を使用させていただいておりますが毎年施設利用に不安定なのが協会としての一番の悩みです。夏・冬通して同じ場所が利用できる事を望んでいます。 (現在は不満はございません)

問1 団体の年代別・男女別の人数についてご記入ください	問3 団体の抱える問題点は何ですか？ (複数回答)	問3-1 問3で回答した問題点を解決するために、団体ではどのような取組をしていますか？	問4 今後、団体の活動をどのように行っていきたいですか？	問5 今後、町民の皆さんの活動を活発にするために、町があなたの団体と一緒にできることはありますか？	問6 その他、利用している施設や普段感じていることなど、ご意見ありましたらご自由にご記入ください。
20歳未満男4名 20歳未満女4名 合計8名	1.新たに加える会員が少ない	・今後体験教室等を開催し団員の勧誘をはかりたい	回答無し	回答無し	回答無し
20代男3名、30代男9名 40代男7名、50代男4名 60代男9名、70代以上男7名 30代女2名、50代女4名 60代女1名 合計46名	1.新たに加える会員が少ない	・スキー少年団員の保護者も大会役員とし手伝ってもらっているが、会員だけでは役員数の確保が厳しい。教委職員にもお手伝い頂き大変ありがたい。	・今後も大会運営は継続していく。大会参加者は開催される事を楽しみにしていると思う。	・大会運営費の増額 ・大会役員としての参画（中学生や一般の方）、謝礼は払います。	・児童・生徒も減り、どのスポーツ人口も減っている。どの少年団活動に参画している指導者も無償でのボランティア活動を行っていると思う。時間をさいて指導しているのだから、それ相応の報酬は支払うべき。保護者はその事をとらえてほしい。例えばピアノ、習字、そろばん等は毎月の月謝がかかりますよね。
30歳男1名、40代男1名 60歳男1名、70代以上男1名 20代女1名、40代女1名 50代女1名 合計7名	1.新たに加える会員が少ない	・少年団と一緒に来ている親御さんを誘うなどしているが、特殊な競技なので難しい	・会員の例会の開催（週1回） ・スポーツ教室の開催（前期・後期） 1回3日程度	回答無し	回答無し
20歳未満男5名、20代男4名 30代男3名、40代男1名 50代男1名、70代以上男4名 20歳未満女13名、20代女10名 30代女1名、40代女4名 50代女3名、60代女1名 合計50名	1.新たに加える会員が少ない 9.その他、全道のソフトテニス団体（一般・高校生・中学生・小学生）に和寒町で合宿を誘致していますが、テニスコートがクレイ（土）のため、二の足を踏む団体が出てきました。ほとんどの市町村がオムニコートを持っているためです。和寒町も施設建設計画に入れてほしいです。	1.小学生からソフトテニスに触れさせ、大会に参加させ、楽しさをわからせて、中学生・高校生・大学生・一般と続けてもらい、生涯の趣味として大切にしてもらえよう努力している。 2.オムニコートにするよう毎年要望を上げている。	1.全道の仲間（一般・高校生・中学生・小学生）たちに和寒町に来てもらい、合宿や大会を通して交流を深め。和寒町の活性化に役立つ活動をめざす。 2.小学生・中学生のソフトテニス人口を増やし、大人になってもソフトテニスを愛する仲間を育てる活動をする。	・今までの大会の開催や合宿等で、協力頂き感謝申し上げます。オムニコートに向けての計画をよろしく願います。	・研修館にれとテニスコートを全道の仲間に利用してもらうよう今後も努力したいと思っています。 ・和寒町ソフトテニス大会には、町長さんの歓迎の挨拶を頂き、是非とも和寒町の宣伝をしていただきたくお願い申し上げます。
20歳未満男7名 合計7名	1.新たに加える会員が少ない	・先生がポスターを作っていたり、アイス子供達にくれる。子供の同級生に声かけ等。	・仲良く、楽しく。	・他のスポーツでもそうだけれども、遊び程度で剣道をする機会があればと思う等、いっぱいあると思う。	・焼肉をするのにふれあいの森だと遠い。役場の横がいい。
20歳未満男6名、20代男1名 40代男1名、50代男1名 20歳未満女2名 合計11名	1.新たに加える会員が少ない 4.リーダーや役員のなり手がいない	・地道な声かけ	・継続したチームの存続	・世代間交流	回答無し
20歳未満男10名 20歳未満女3名 合計13名	1.新たに加える会員が少ない 7.成果を活かす場や機会が少ない	・新しい団員確保のため募集や勧誘など	・これまで通り	・少年団のPR動画、指導者の話などを収録して、興味のある人がみれるようにする。また、活躍（大会の動画）なども載せると町民の人もみられて良い。	回答無し

諮 問 文

令和2年6月15日

第9次和寒町社会教育中期振興計画策定委員会
委員長 土 井 一 光 様

和 寒 町 教 育 委 員 会
教育長 沓澤 昭一

次の事項について、下記理由を添えて諮問いたします。

「第9次和寒町社会教育中期振興計画（令和3年度～令和7年度）の策定について」

記

（諮問の理由）

和寒町は、和寒町民憲章の具現化と第5次和寒町総合計画に掲げられているまちづくりのテーマ「人の“和”ひろがる 恵みの大地 わっさむ」との整合性を図りながら、平成27年度に平成28年度からの5ヵ年計画の『いつでも どこでも だれでも いつまでも “まなび” がひろがる まち わっさむ』を社会教育のシンボルテーマにした「第8次社会教育中期振興計画」を策定したところです。そして今日まで、町民の学習要求に応えるべく、年次的に計画の見直しを図りながら、町づくりの一環としての社会教育活動を推進してまいりました。

その計画も今年度に最終年度を迎えることになり《第9次社会教育中期振興計画》を策定するに至りました。この間に、本格的な人口減少と少子高齢化社会を迎え、社会経済情勢もめまぐるしく変化しており、町民の社会教育に対する意識、学習や文化に関する価値観も多様化してきております。

こうした状況を踏まえ、社会教育の現状と課題を明らかにする中から、問題解決のための具体的方策を導き出し、《第9次社会教育中期振興計画》を策定いただきたいと存じます。

今日の社会教育の推進が、生涯学習の観点に立って進められなければならないのはもちろんであります。和寒町民のために果たす社会教育のあり方を見極め、方策を見出されますようお願いいたします。また第8次社会教育中期振興計画策定時と同様に「第6次和寒町総合計画」との整合性を図っていただきますようお願いいたします。

答 申 書

令和3年3月26日

和寒町教育委員会
教育長 沓 澤 昭 一 様

第9次和寒町社会教育中期振興計画策定委員会
委員長 土 井 一 光

第9次和寒町社会教育中期振興計画の策定について

第9次和寒町社会教育中期振興計画策定委員会は、令和2年6月15日に和寒町教育委員会から標記の件についての諮問を受け、全体部会と専門部会に分かれて審議して参りました。

これまでの社会教育推進の中軸となっていた第8次和寒町社会教育中期振興計画を基本におき、第6次和寒町総合計画との整合性を図り、本町社会教育の現状と課題の把握に努めるとともに、地域住民の声を聴きながら取りまとめたのが本答申であります。

今後、社会教育の推進にあたっては、本答申の趣旨を生かされ、和寒町の風土に根ざし、持続可能な地域づくりを目指し、「いつでも どこでも だれでも いつまでも “まなび” がひろがる まち わっさむ」の基本理念をもとに、和寒町の将来に向けて社会教育の振興と町の発展に寄与されることを期待いたします。

和寒町社会教育中期振興計画策定委員会要綱

(設置)

第1条 和寒町社会教育に関し、地域の把握に努めるとともに、住民の学習要求や時代の要請に即した、中期的かつ総合的な観点から社会教育計画を策定するため、和寒町社会教育中期振興計画策定委員会（以下「委員会」という）を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会は、和寒町教育委員会（以下「教育委員会」という。）の諮問に応じて、社会教育中期計画の策定について審議、調査等を行い、教育委員会に答申を行う。

(組織)

第3条 委員会は、社会教育委員をもって構成し、教育委員会が委嘱する。

2 委員の任期は、委嘱の日から答申の日までとする。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会の委員長、副委員長は社会教育委員長、社会教育副委員長が就任する。

2 委員長は会務を統括し会議を主宰する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代理する。

(部会)

第5条 委員会には、次の部会を設ける。

(1) 社会教育振興部会

(2) 文化振興部会

(3) スポーツ振興部会

2 部会委員の中から部会長を選出する。

3 部会長は、部会の議長となり部会を掌理する。

4 部会は、必要あるときは合同部会とすることができる。

(事務局)

第6条 委員会の事務局は教育委員会に置く。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会に関し必要事項は別に定める。

(施行)

この要綱は、令和2年6月15日から施行する。

策定委員会の分掌

1. 会議

(1) 計画策定全体委員会

- ① 各部会からの意見を協議検討し決定すること。
- ② 各部会全体の連絡調整に関すること。

(2) 策定委員会部会長

- ① 各部会の連絡調整に関すること。
- ② 全体に関わる構想の作成と検討に関すること。

(3) 策定委員会部会

- ① 部会担当領域の計画策定に関すること。
- ② 必要に応じて会議を開催し、専門領域の協議に関すること。

2. 部会及び領域

(1) 社会教育振興部会

- ① 家庭の教育機能の充実にすること
- ② 少年の学習活動に関すること
- ③ 青年の学習活動に関すること
- ④ 成人（一般）の学習活動に関すること
- ⑤ 成人（女性）の学習活動に関すること
- ⑥ 成人（高齢者）の学習活動に関すること
- ⑦ 地域社会の教育機能の充実にすること
- ⑧ ボランティア活動に関すること

(2) 文化振興部会

- ① 芸術文化活動に関すること
- ② 文化財の保護と活用に関すること
- ③ 図書館活動の充実にすること

(3) スポーツ振興部会

- ① 幼少年のスポーツ活動に関すること
- ② 青年のスポーツ活動に関すること
- ③ 成人（一般）のスポーツ活動に関すること
- ④ 成人（女性）のスポーツ活動に関すること
- ⑤ 成人（高齢者）のスポーツ活動に関すること

3. 各部会における共通事項

- ① 社会教育基盤整備（施設、人員、生涯学習推進体制など）に関すること

和寒町第9次社会教育中期振興計画策定委員会

部会構成	領域	役職	委員氏名		事務局	
社会教育 振興部会	第1節 社会教育活動の振興 1. 家庭・地域の教育力の向上 2. 社会教育活動の推進 3. 社会教育推進と文化振興の ための基盤整備		福田 孝 夫	和寒小学校長	岡 安 洋 子	課長補佐兼社会教育係長
		部会長	川 西 健 吾	連合PTA・商工会 代表	室 屋 礼 二	教育委員会社会教育係
			眞 鍋 友 子	商工団体女性部代表		
		副委員長	高 岡 純 孝	識 見 者		
文化振興 部会	第2節 文化活動の振興 1. 芸術文化活動の充実 2. 郷土文化の継承 3. 図書館活動の充実	部会長	中 間 靖 之	和寒中学校長	綾 野 千 佳	課長補佐兼図書館司書係長
		委員長	土 井 一 光	文化団体代表	三 好 圭 輔	スポーツ振興係長
			瓜 るみ子	ボランティア団体代表		
			鈴 木 健 一 郎	識 見 者		
スポーツ 振興部会	第3節 スポーツ活動の振興 1. 誰もが親しめるスポーツ 機会の充実 2. スポーツの基盤の整備充実	部会長	渡 邊 道 太 郎	体育団体代表	加 藤 大 平	スポーツ振興係主査
			濱 田 敏 史	子ども会代表	杉 本 一 喜	教育委員会社会教育係
			笠 嶋 覚	福祉団体代表		
			白 土 真 太 郎	識 見 者		

第9次和寒町社会教育中期振興計画策定の経過

開催年月日	会 議 名	会議の内容
令和2年6月15日	第1回策定委員会	第9次社会教育中期振興計画（以下、第9次計画）策定委員の委嘱教育委員会から諮問 策定委員部会構成について
令和2年6月～8月	事務局	社会教育団体実態調査様式作成
令和2年8月中旬	事務局（郵送）	社会教育団体実態調査の実施 団体シートの送付
令和2年9月～12月	事務局	社会教育の基本構想、計画の原案作成、社会教育団体実態調査の回収及び集計、分析原案作成
令和2年12月10日	第2回策定委員会	社会教育の基本構想、計画の検討、 社会教育団体実態調査結果について
令和2年12月～2月	事務局	各領域の現状と課題・推進内容の 原案作成
令和3年2月19日	第3回策定委員会 第1回策定専門部会	社会教育の基本構想、計画、各領域の現状と課題、推進内容の審議
令和3年2月～3月	事務局	第9次計画全体の原案作成
令和3年3月26日	第4回策定委員会	第9次計画原案について審議
令和3年3月26日		第9次和寒町社会教育中期振興計画を教育委員会へ答申

第9次

和寒町社会教育中期振興計画

令和3年3月

発行 和寒町教育委員会

